

西洋事情

外編

福岡第一師範學校
(學校圖書)

登録第 29426 號

歴史科 第四
部

記 録 簿

目 次

全 冊ノ内第 冊

分類第 23008 號

図書 和図書 週



a 1380324098 a

福岡教育大学蔵書

T 1A1

27

F 85

3

F

302
F 85g
(1)

福澤諭吉纂輯

西洋事情外篇

明治五年

壬申再刻

慶應義塾出版局

西洋事情外編卷一

題言

西洋事情三冊既已行ハレ近日又其次編ヲ
 需ル者多シ余今茲丁卯六月亞米利加ヨリ歸
 後其趣ヲ起サントセシカ思フニ本編總目
 順序ニ從テ其事ヲ記セシカ如キハ唯各國ノ
 記政治等一端ノ科条ヲ知ラシムルノミナ
 西洋普通ノ事情ヲ盡クニ是ヲ入之ヲ譬
 猶柱礎屋壁ノ構成ヲ知ラシムルヲ遽カニ一
 部曲ヲ檢視スルカ如キ蓋本編ノ旨ニ備

ヲ附タルモ原此趣旨ヲレ其斯ノ如キハ唯余
一時旅中ノ親見親聞ヲ寸録セシモノナレ
遺漏固ヨリ少チカラズ因テ今英人モリナル氏
所撰ノ經濟書ヲ譯シ傍テ諸書ヲ鈔譯シ増補
テ三冊ト爲シ題シテ西洋事情外篇ト云フ閱者
宜ク之ヲ事情ノ綱領ト看做シ以テ本編ノ備
參照ス可シ

ブル氏ノ經濟書ハ書中論說ノ大段ヲ兩部
ニ分チ前部ニハ「國際交際」道ヨリ各國
所以各國之「國際政府」起ル所以

裁國法風俗及人民教育等ノ箇条ヲ裁キ其
ヲソリイザルエハ「後部」ニ「經國」

世ノ事件ヲ論シ「後部」ニ「經國」

然ルニ項目社友神田氏所譯ノ經濟小學

冊ヲ得之ヲ閱スルニ其事實第二段ニ載ス

所ト略相似タハ畢竟又大同小異ノ書ニ過

因テ余ハ唯本書中首ノ一駁ヲ譯シ其餘經濟論

ノ詳ナルハ姑ク闕シテ之ヲ小學ニ讓レ耳故

此書ヲ讀ム者ハ必於經濟小學ト參考シテ始

全昇ノ真味ヲ知ル可シ但シ余ハ此書ノ全譯

譯セサルハ敢テ其勞ヲ憚ルニ非ラス抑方今文
化益開ケ翻譯ノ書陸續世ニ出ルト雖氏固ヨリ
彼ノ百科萬端ノ學術有限ノ力ヲ以テ無限ノ書
ヲ讀ムカ故ニ假令吾社ノ翻譯ヲ業トスル者各
科目ヲ分チカヲ陳テ之ヲ譯スルトモ其全備ヲ
期スルハ如キハ甚容易ナラス況ヤ今大同小異
ノ書ニ於テ無益ノ勞ヲ費サンヨリ寧リ其力ヲ
他書ニ用ヒ務テ新奇有益ノ事件ヲ譯シ廣ク之
ヲ世ニ布告セシムル如カハ是余カ此意ノ全
ヲ譯セサル所以ノ鄙意ナリ知ラス今果シテ其

然ルヤ小學ニヨレテ分業ノ便利ニ由ルト謂フ
モ豈或善ラズヤ
書中原本ノ順序ニ從テ条目ヲ立テ間其他書ヲ
鈔譯シテ増補スルニ係ルモノハ其字行ヲ一
下クシテ本文ト區別ス覽者草々看過シテ混
スルヲ勿レ

慶應三年丁卯季冬

福澤諭吉 誌

西洋事情外編目錄

卷之一

人間

家族

人生、通義及ヒ其職分

世ノ文明開化

貴賤貧富ノ別

世人相勵ミ相競フ事

「ワ」ノ傳

「ステフェンソン」ノ傳

人民ノ各國ニ分ルハ、コヲ論ス

各國交際

政府ノ本ヲ論ス

卷之二

政府ノ種類

國法及ヒ風俗

政府ノ職分

卷之三

人民ノ教育

經濟ノ總論

私有ノ本ヲ論ス

勤勞ニ別アリ功驗ニ異同アルヲ論ス

發明ノ免許

藏版ノ免許

私有ヲ保護スル事

私有ノ利ヲ保護スル事

目錄終

西洋事情外編卷之一

人間

福澤諭吉 纂輯

人ノ生スルヤ天ヨリ之ニ與フルニ氣カヲ以テシ
之ニ附スルニ性質ヲ以テシ此氣カト性質トニ由
テ外物ノ性ニ應シ以テ身ヲ全シテ朝露ノ命ヲ終
ルヲ得ルナリ

外物ノ来ルニ從ヒ機ニ臨ミ變ニ應シテ其處置ヲ
施シ一朝ノ患ナク亦終身ノ憂ナシ是レ所謂人間
ノ幸ナレハ安ニ喜怒哀樂ノ情ニ逐ハレ血氣ノ情

欲ニ制セラル、コナク適宜ニ心身ヲ用テ我望ム
所ヲ達シ我好ム所ヲ得テ自カラ満足セシコトヲ求
ム可シ之ヲ概シテ云ヘバ人ハ爲スコアル可キノ
造物ナリ寒熱痛痒風水火ノ如キ人ニ害アルニ
似タレヒ却テ人ノ氣ヲ引立其勸ヲ勵マスノ一大
助ナル可シ凡ソ我ニ得ルコトアラシト欲スル者ハ
先ッ我心身ヲ勞セサル可ラス千辛萬苦勞ヲ憚ル
勿レ人生勞セサレハ功ナシ
人間開闢ノ初ニ於テハ固ヨリ相交ルノ道ヲ教ル
者ナシ唯其自然ニ希望スル所ト人氣ノ趣ノ所ニ

隨テ知ラス識ラス交際ノ法則ヲ設テ互ニ便利ヲ
得タリシコトナレヒ歲月ヲ經ルニ從テ其諸法ノ内
ヨリ至當ナルモノヲ撰テ終ニ一科ノ學ト爲シ之
ヲ人間ノ交際及ヒ經濟ノ學ト名ケリ今此法則ヲ
ルモノ果シテ理ノ當然ニ出テ變革ス可シサルヤ
否ハ定ノ難シト雖ヒ多クハ天下古今ノ實驗ヲ經
テ方ナキモノナリ世人或ハ人間ノ交際及ヒ經濟
ノ新法ヲ唱テ之ヲ稱譽スル者モ亦少カラスト雖
氏是等ハ皆其人ノ陋見ヨリ出テシコトニテ自然ノ
人心ニ戾レリ故ニ今コトニ論スル所ハ唯人ノ天

性ニ從フヲ以テ基本トセリ若シ之ニ反シテ人間
交際ノ道ヲ立ントセハ必ス其弊アル可シ

家族

人間ノ交際ハ家族ヲ以テ本トス男女室ニ居ルハ
人ノ大倫ナリ子生レテ弱冠ニ至ルマテ父母ノ膝
下ニ居テ其養育ヲ受ルモ亦普通ノ大法ニリ斯ノ
如ク夫婦親子團聚一家ニ居ルモノヲ家族ト云フ
凡ソ世間ニ人情ノ厚クシテ交ノ睦キハ家族ニ若
クモノナシ○一家族モ其子孫繁昌スレハ一族ノ
人種タルニ至ル今一國ニ千百ノ家族アリテ其言

語ノ同フシ其風俗ヲ共ニスルハ元來一家族ハ繁
殖セシモノト云フ可シ固ヨリ一國人民ノ由來ヲ
知ラントスルニハ其探索甚ク難キヲナレバ大凡
ソ其軀格ト氣質トヲ見レハ其先祖ノ同一家ナル
ヲ察知ス可シ

夫婦ノ配偶ハ人ノ幸ヲ増シ人ノ交ヲ厚クスル
ハナリ固ヨリ天ノ然ラシムル所ニテ人カニ非ス
鳥獸ノ類子ヲ生ムハ自カラ一時ノ配偶ヲ定テ
共ニ其子ヲ養フト雖此之ヲ養テ既ニ成長スレハ
則テ其配偶ヲ破テ更ニ雌雄牝牡ノ定ナシ人ノ子

ハ初生ノ際殊ニ薄弱ニシテ其成長スルモ亦甚ク
 晩ニ此時ニ當テ父母力ヲ共ニシ心ヲ同フニテ之
 ヲ養育煦哺スルハ即チ人ノ至情ナリ且其子ノ薄
 弱ニシテ成長ノ晩キハ造物主ノ故サラニ意ヲ用
 テ人ノ配偶ヲ固スルノ深旨ナル可シ
 久其子ヲ養育シ又之ヲ保護シ其無病安全ヲ祈テ
 子ノ為ニ働キ子ノ為ニ苦勞シ之ヲ導キ之ヲ教ル
 ニハ其煩シキヲ限ナシト雖氏常テ之ヲ憚ルヲナ
 ク子ニ對シテ少シモ彼我ノ差別ナキハ人ノ至情
 天ノ大道ナリ凡ソ外物ニ交ルニ人トシテ相競ノ

ノ心アラサル者ナシ或ハ之ヲ其私欲ト謂フニ可
 ナリ然ルニ今家ニ入レハ家族ノ間相競ニ相争フ
 ノ痕跡ヲモ見サルハ何ソヤ思フニ造物主ノ深意
 ニテ家族ノ睦キ情合ヲ推シ廣メ四海ノ内ヲ一家
 族ノ如クナラシメントスルノ趣旨ナル可シ抑右
 ノ如ク家族ノ間ハ睦シテ快キモノナレバ其大本
 ナ尋レハ畢竟夫婦相信シ親子相親ムノ情アルニ
 由テノコナレハ世間若シ配偶ノ道ナクハ夫婦親
 子ノ情ヲ失テ斯ル家族ノ幸ハナカル可シ
 一夫一婦家ニ居ルハ天ノ道ニテ之ヲ一家族ト名

ク然ハ則チ衆夫衆婦相集ルモ亦天道ノ大義ナリ
斯ク人ノ相集リ相交ルモノヲ一種族又ハ一國ノ
人民ト名ク禽獸ハ各其性ヲ異ニシ或ハ群居ヲ好
マズ寂寞トシテ獨リ食ヲ求ルモノアリ或ハ友ヲ
呼ビ群ヲ成シ巢穴ヲ同フシ餌食ヲ與ニスルモノ
アリ今人ノ所爲ヲ察スルニ其天稟群居ヲ好ミ此
彼相交リ此彼相助テ互ニ世ノ便利ヲ達スルノ性
質アリ世人或ハ此理ヲ知ラス獨歩孤立シテ世ヲ
渡ラントセシ者アリシカモ底到其身ハ幸ヲ失ヒ
却テ世間ノ害ヲ爲スニ至レリ

億兆ノ人民其性情相同キカ故ニ交際ノ道世ニ行
ハレテ妨ナシト雖モ人々ノ了解ハ各持前ノ見込
アリテ必シモ一致シ難シ故ニ人間ノ交ヲ全セシ
ニハ相互ニ自由ヲ許シ相互ニ堪忍シ時トシテハ
我了簡ヲモ枉テ人ニ從ヒ此彼相平均シテ始テ好
合調和ノ親ミヲ存ス可シ

人生ノ通義及其職分

天ヨリ人ニ生ヲ與レハ又從テ其生ヲ保ツ可キノ
才力ヲ與ノ然レモ人若シ其天與ノ才力ヲ活用ス
ルニ當テ心身ノ自由ヲ得サレハ才力共ニ用ヲ爲

サス故ニ世界中何等ノ國タルヲ論セス何等ノ人
種タルヲ問ハス人々自カラ其身軀ヲ自由ニスル
ハ天道ノ法則ナリ即チ人ハ其人ノ人ニシテ猶天
下ハ天下ノ天下ナリト云フガ如シ其生ル、ヤ束
縛セラル、ヲナク天ヨリ附與セテタル自主自
由ノ通義ハ賣ル可ラス亦買フ可ラス人トシテ其
行ヒテ正フシ他ノ妨ヲ爲スニ非サレハ國法ニ於
テモ其身ノ自由ヲ奪取ルヲ能ハス今給料ヲ受テ
人ニ奉スル者ハ或ハ其身下自由トルニ似タレ
其其實ハ然ラス奉公ノ人ニテモ其身軀ハ其人ノ

身軀ニテ煩勞ノ代ニハ給料ヲ受ケ一身ノ處置ヲ
爲スニ他ヨリ之ヲ間然スル者アルコトナシ
速ノ自由ノ趣意ハ國ノ制度ニ於テ許ス所ニテコ
レヲ人民普通ノ自由ト名ク

天下ノ爲ニ大法ヲ作ルニハ其人民ヲ一樣ニ見ル
可シ小兒ト云ヒ大人ト云ヒ乞兒ト云ヒ富豪ト云
フモ其生命ノ貴キハ同一ナリ貧兒ノ一敝衣モ法
ヲ以テ之ヲ護ルニ至テハ諸侯ノ領地ニ比シテ孰
カ輕重ノ別ナシ人ノ一身ヲ進退シ活計ノ道ヲ擇
ヒ遊樂ノ趣ノ異ニスルモ各其人ノ意ニ任シテ他

ヨリ之ヲ妨ク可ラス又人ノ天稟ニ於テ自カラ身ヲ重シ身ヲ愛スルノ性アラサル者ナシ是亦造物主ノ深意ニ出ル可ナレハ人々ニ此天性ヲ遂ケシメサル可ラス是即チ萬民同一轍ノ通義ニテ人ノ生ナガラ知ル所ナリ抑人生ニ才不才アリ時ニ遇不遇アリテ同一ノ人類ト雖貴賤貧富智愚強弱ノ差雲壤懸隔シテ其形同シカラサルニ似タレ其實ニ就テ之ヲ視レハ生命ヲ存シ自由ヲ求メ身ヲ重シ物ヲ保ツノ通義ヲ妨ルコトナシ人各其通義ヲ逞フシテ天性ヲ束縛スルコトナレ

又從テ其職分ヲ勤トメサル可ラス之ヲ譬ヘバ家業ヲ營テ運上ヲ納ルカ如シ自カラ衣食ヲ求メ又家族ノ爲ニ之ヲ給シテ他人ノ煩ヲ爲サバユウニ心掛ルハ人タル者ノ職分ナリ世ニ法律アリテ我身軀ヲ保チ我通義ヲ達スルヲ得ルガ故ニ小心翼翼以テ其法律ヲ尊敬セサル可ラス是亦人タル者ノ職分ナリ若シ人トシテ自カラ衣食往ヲ給スルノ道ヲ知ラスシテ他人ノ煩ヲ爲シ徒ニ我自由ヲ求メ我通義ヲ達セントスルハ即チ人ノ功ヲ盜ハナリスノ如クシテハ天下一日モ交際ノ道

ヲ存ス可ラス又世人法律ヲ頼テ我身ノ守護ヲ求
ノ後テ又此法律ヲ破リ我求ル所ヲ求テ我守ル可
キヲ守ラサル者多クバ天下一日モ法ノ行ハル
ナク人間交際ノ道モ地ヲ拂テ廢却ス可シ
人間交際ノ大本ヲ云ヘバ自由不羈ノ人民相集テ
カテ役シ心ヲ勞シ各其功ニ従テ其報ヲ得世間一
般ノ爲ニ設ケシ制度ヲ守ルナリ然レモ之ヲ實
地ニ施スニ當テハ衆人ノ内ニ薄弱多病自カラ衣
食ヲ給スルヲ能ハスシテ他人ノ扶助ヲ仰ク者ア
リ是天性ノ不幸ナルガ故ニ他ヨリ之ヲ扶助スル

健康無事ノ人ノ職分ニテ其法或ハ人々ノ志ニ
從テ私ニ衣食ヲ與ルヲアリ或ハ窮ヲ救フノ法則
ヲ設ルヲアリ固ヨリ死生不定ノ人身ニ適ル可ラ
サルノ不幸ナレバ之ヲ助ルハ即チ造物主ノ趣旨
ナリ故ニ薄弱多病ニテ他ノ扶助ヲ蒙ルトモ其本
人ニ於テ聊之ヲ恥レノ理ナシ又身軀健康ニシテ
行ヒ正シキ者心力ヲ勞セント欲スレバ一時ノ故
障ニ妨ケラレテ意ノ如クナラサルヲアリ此亦相
互ニ扶助セサル可ラス○右ハ人ノ薄命不幸ノ處
置スル法ナレバ本来人間ノ大義ヲ論スレバ人々

互ニ其便利ヲ謀テ一般ノ為ニ勤勞シ義氣ヲ守リ
廉節ヲ知リ勞スレハ從テ其報ヲ得不羈獨立以テ
世ニ處シ始テ交際ノ道ヲ全ス可キナリ
前条ノ議論ヲ尚又明ニ了解セント欲セバ人々内
ニ自カラ顧テ我一身モ猶他人ノ如ク心カヲ勞シ
テ世ニ存スルヲ得ルモト思フ可シ然ルニ今
懶惰無為ニシテ世ヲ渡ントスルハ即チ他人ヲ
テ一陪ノ勞ヲ爲サンメ竊ニ其功ヲ盜ハニアラズ
故ニ人トシテ義氣廉節ノ知テハ懶惰ヲ以テ自
カラ安ス可ラス或ハ又人ノ言ニ自カラ勞後ヤン

ト欲スレハ其機會ヲ得スト云フ者アリ然レハ其
實ヲ論スレハ是レ亦遁辞ナリ許ス可ラス凡ソ人
間ノ交ニ兄弟朋友ニ非サルノ外ハ人ノ為ニ周旋
シテ其活計ヲ得セシムル者ナシ加之人ニ活計ハ
臨機應變預メ期ス可ラス躬カラ其職業ヲ求テ始
テ安心ノ地位ヲ得可キナリ故ニ人間交際ノ道ヲ
全センニハ懶惰ヲ制シテ之ヲ止メサル可ラス或
ハ之ヲ罰スルモ亦仁ノ術ト云ス可シ
又人々交際ノ道ヲ存セント欲セバ各其德行ヲ修
メ法令ヲ守ラサル可ラス野鄙固陋ノ風習ヲ脱シ

テ禮義文明ノ世ニ居ルハ人ノ欲スル所ナリサス
レハ人々徳ヲ修メ法ヲ畏テ世ノ文明開化ヲ助ケ
サル可シヤ若シ然ラスシテ世ノ風俗ヲ害スル者
ハ其罪身ヲ懶惰ニシテ他人ノ功ヲ奪フ者ニ等シ
キハ故ニ之ヲ罰シテ後難ヲ防サル可ラス其法或
ハ衆人ノ評議ニ從テ之ヲ罰スルコトアリ或ハ裁判
所ノ設テ罪ヲ決斷スルコトアリ裁判ノ法ハ開闢ノ
始ヨリ世ニ行ハレテ之ヲ遵奉スルハ世人當務ノ
職分ナリ
文明ノ眼ヲ以テ之ヲ觀レハ諸法ノ内或ハ人ニ不

便ナルモノアルニ似タレ其國ノ制度ヲ以テ施行
スルノ間ハ之ヲ守ラサル可ラス若シ暴行ヲ恣ニ
シテ此法ヲ破ル者アラハ世ノ害ヲ爲スト甚大ナ
リ都テ國法ノ趣旨ハ人ノ通義ヲ達シ人ノ生命ヲ
保チ業ヲ營ミ身ヲ安ヤシムルノ大本ナレバ之ヲ
蔑視シテ畏レサル者ハ自カラ其愚ヲ表スルニ等
シ若シ又事實不便ノ法アラハ國議ニ由テ穩ニ之
ヲ改正シ其弊ヲ除テ妨ナキコトナリ

世ノ文明開化

歴史ヲ察スルニ人生ノ始ハ莽昧ニシテ次第ニ文

明開化ニ赴クモノナリ莽昧不文ノ世ニ在テハ禮義ノ道未タ行ハレズシテ人々自カラ血氣ヲ制シ情欲ヲ抑ユルヲ能ハス大ハ小ヲ犯シ強ハ弱ヲ虐シ配偶ノ婦人ヲ視ルヲ奴婢ノ如ク父ノ子ヲ御スルニ無道ヲ以テスルモ之ヲ制スル者ナシ且世間相信スルノ意薄クシテ交際ノ道甚タ狹キカ故ニ制度ヲ設テ一般ノタメニ利益ヲ謀ルヲ能ハス世ノ文明ニ赴クニ從テ此風俗次第ニ止ミ禮義ヲ重シテ情欲ヲ制シ小ハ大ニ助ケラレ弱ハ強ニ護ラレ人々相信シテ獨其私ヲ顧ミス世間一般ノ爲ニ

便利ヲ謀ル者多シ○或人以爲ラク上古蠻野ノ人水草ヲ逐テ處ヲ移スニ其出處進退ヲ妨ル者ナカリシニ人間交際ノ道世ニ行ハレテヨリ或ハ却テ人ノ性情ヲ矯ルヲアレバ人生最大ノ自由ハ蠻野ノ世ニ在リト然レモ是レ其一ヲ知テ其二ヲ知ラサルノ論ナリ蠻野ノ世ニ行ハル、自由トハ恰モ人ヲシテ餓死セシムルノ自由ナリ力ヲ以テ暴虐ヲ恣ニスルノ自由ナリ罪ヲ犯シテ罰ヲ蒙ルヲナキノ自由ナリ豈コレヲ眞ノ自由ト云フ可シヤ文明開化ニ從テ法ヲ設ケ世間一様ニコレヲ施シテ

始テ眞ノ自由ナルモノヲ見ル可シ
又或人ノ説ニ蠻野ハ天然ナリ文明ハ人爲ナリト
云フ者アレモ畢竟字義ヲ誤解シタル論ナリ文明
ノ世ニ行ハル、事物一トシテ天然ニ出テサルモ
ノナシ世ノ開化ヲ進メ法則ヲ設ケ其法寛ナレモ
之ヲ犯ス者ナク人々力ニ制セラレスシテ心ニ制
セラル、ハ文明ノ有様ニテ即チ人生天壤ノ至性
ナリ之ヲ人爲ト云フ可ラス固ヨリ太古草昧ノ時
ニ當テハ其風俗自然ニ出ルモノモ亦多カル可シ
ト雖モ今其風俗ニ止テ更ニ進マザルハ必ス外物

ノ故障アリテ然ラレムルヲナレバ却テコレヲ人
爲ト云フ可シ其一證ヲ舉テ云シニ野鄙草昧ノ人
ハ衣食住居共ニ不潔シテ文明開化ノ人ハ清潔ト
リ今人トシテ其天性汚穢ヲ好テ清潔ヲ惡ハ者ア
ラシヤサスレハ野鄙草昧ノ人ノ不潔不清ナルハ
未タ其人ノ天性ヲ伸ルヲ能ハサルモノニシテ之
ヲ譬ヘハ初生ノ小兒ニ未タ才力ノ發生ヲ見ザル
カ如シ
野鄙草昧ノ人ハ必ス天然ニ從テ人爲ヲ用ルヲナ
シト思フハ大ナル誤解ナリ某國ニ一種ノ野民ア

リ其風俗頭ノ低キヲ貴ヒ子生レハ其頂ニ板ヲ結
付テ頭ノ形ヲ造ル又支那ハ文明ノ教未タ洽カラ
ザルモノニテ半開半化ノ國ト云フ可シ然ルニ其
風俗婦人ノ足ノ細小ナルヲ美トシテ女子生レハ
其足ニ窄キ鉄ノ履ヲ着テ其天然ノ形ヲ成サシメ
ス是等ハ皆人爲ヲ以テ天然ヲ害スルモノト云フ
可シ今真ニ文明開化ト唱ル國ニ於テハ斯ク天然
ヲ害スルノ甚シキモノヲ見ズ

諺ニ云ク人ハ文明ニ至テ其美ヲ盡スト野鄙草昧
ノ國ハ土地ノ廣ニ比シテ人口甚タ少シ之ヲ平均

シテ一里四方ニ一人ヨリ多カラス其故ハ食料ノ
不足ナルニ由テ然ルナリ文明ノ國ニ於テハ耕作
ヲ勸メ牧畜ヲ勵ミ工ヲ勤ノ業ヲ營テ其人口次第
ニ増シ之ヲ平均シテ一里四方ニ二百五十人ノ數
ニ至レリ又草昧ノ人ハ老幼ヲ養フノ法ヲ知ラス
且其生活ニ艱難ヲ凌クニ多キ力故ニ人多クハ短
命ナレ氏文明開化次第ニ進メバ隨テ人ノ生命モ
長壽ヲ得ルニ至ル英國ニ於テ百年以來ノ人ノ死
生ヲ計テ之ヲ平均シタルニ國人ノ壽命次第ニ増
加セリト云

世界中ノ人口八億五千萬コレヲ世界中ノ地面
ニ平均スレハ一里四方ニ十七人ノ割合ナリ又
人ノ壽命ヲ平均スレハ三十三歳ヲ定命トス或
ハ此數ニ二倍シ或ハ三倍スル者モアレハ百歳
以上マテ生ル者ハ甚稀ナリ故ニ大壽相混シテ
三十三歳ヲ平均ノ壽命トスレハ三十三年ノ間
世界中ニ死生スル者八億五千萬人一年ニ二千
六百萬人一日ニ七萬人一時ニ三千人一分時ニ
五十人ノ割合ナリ

抑文明開化 唱ル英國ニテモ其教化未ダ洽シト

云々可ラス文字ノ教育ヲ受ケズシテ無學文盲ナ
ル者ハ皮蕩無賴罪ヲ犯ス者アリ又其邊鄙ノ地
至テハ上古懶惰ノ風ニ安シテ文明ノ味ヲ知サ
ル者アリ然レハ是等ハ皆文明世界中ノ野人ナレ
ハ遂ニハ他ノ風ニ靡キ他ノ徳ニ化シテ共ニ天地
ノ歡樂ヲ亨ルノ日アル可シ

前条ノ如ク文明ノ世界中ニ居テ其教化ヲ蒙ラサ
ル者ハ固ヨリ世ノ弊ナレハ此弊ハ文明ノ盛
ナルニ從テ自カラ除ク可キモノナリ又文明ノ進
ムニ隨テ共ニ生スル一種ノ弊アリ此弊ヲ救フニ

ハ他ニ其法術ヲ求サル可ラス今其一二ヲ舉テ云
ニ文明ノ教盛ナレハ世間富饒ヲ致シコレカ為
ニ貧乏ノ心ヲ煽動シテ惡事ニ陷ルコトアリ文明ノ
弊ナリ機關ノ制式次第ニ精巧ヲ極メ隨テ商法モ
其趣ヲ變スルニ至テ回來ノ工商一時ニ其產業ヲ
失ヒ衣食ニ窮スル者亦少ナカラス此亦文明ノ弊
ナリ今此弊害ヲ救フニハ世人ヲシテ一般ニ世ノ
形勢ヲ了解セシメ其心ヲ勞シ其力ヲ復シテ新ニ
衣食ヲ求ム可キノ方向ニ導クノ外他ニ方術ナシ
凡ソ人トシテ義氣廉節ヲ守リ心カヲ勞シテ憚ル

ナクハ彼令ヒ相競ヒ相争フノ世ト雖氏活計ノ
路ヲ得ルコト疑ナシ即チ是文明ノ世界中ニ求ム可
キ活計ノ路ナリ

貴賤貧富ノ別

前既ニ論セシ如ク人ノ生命ヲ保チ自由ヲ求メ身
ヲ重シ物ヲ有スルノ理ハ億兆ノ人民同一轍ニシ
テ其別ナシト雖氏人ノ氣質ト才力トニ至テハ然
ラス或ハ穎敏活潑ナルアリ或ハ愚鈍懶惰ナルア
リ或ハ謹慎勉強スルアリ或ハ放奢淫佚ナルアリ
或ハ強アリ或ハ弱アリテ人々ノ天稟必シモ一樣

ナラス加之今コ、ニ二人アリテ其天稟毫モ優劣
ナキト雖氏一人ヲ教テ一人ヲ棄レハ其人物忽
チ變シテ雲壤懸隔ス可シ是即チ貴賤貧富ノ由テ
分ル所以ナリ概シテ之ヲ云ヘバ人ノ知ラサル所
ヲ知ル者ハ人ヲ制シ人ノ知ル所ヲ知ラサル者ハ
人ニ制セラル、ノ理ナリ
世間ノタメニ勞シテ功ヲ立テシ者ハ爵位ヲ與ヘ
或ハ服飾ヲ許シテ其功ヲ表スルハ各國ノ風俗ニ
テ其本人ニ於テモ之ヲ榮トシ且又他人ヲ勵マス
一大助トナル可シ或ハ國々ノ風俗ニテ有功ノ

者ト雖ハ服飾ヲ與ヘサル國モアレハ之ヲ貴フノ
心ハ萬國普通ノ人情ナリ
右ノ如ク有功ノ者ハ爵位服飾ヲ與ルハ固ヨリ當
前ノ理ニテ人ノ許ス所ナレハ之ヲ其子孫ニ傳ル
ハ理ニ當ラズト云フ者アリ然レハ古來諸國ニ於
テ有功ノ人一度ハ爵位ヲ得レハ其子ハ當テ功勞
ナシト雖ハ父ノ餘慶ヲ承テ世々爵位ヲ傳ルノ風
習トナリシハ何ソヤ學者若シコ、ニ疑アラバ詳
ニ人ハ至情ヲ察ス可シ然ルハ大ニ發明スル
アリテ此風習ノ無理ナラサルヲ了解ス可シ

凡ノ世上ノ人晩年ニ及テ我所有ノ物ヲ處置マン
ト思フトキ之ヲ與フ可キモノハ必ス其子ナル可
シ元來父子ノ間ハ同身同躰ナルカ故ニ父ノ命ハ
終ルトモ其子代テ之ニ繼グハ恰モ薪ノ盡テ火ノ
盡サルカ如ク唯其時代ヲ一新スルノミニテ父ノ
身命ハ依然トシテ存在スルニ異ナラス既ニ父ノ
生命身躰ヲ承テ、レヲ繼グナレバ其外ノ遺
物ヲ受テ於テハ固ヨリ理ノ當然ニテ更ニ疑ヲ
容ル可キニ非ス且世間ノ人モ同情相濟ノ故ニ
レヲ許サ、ルモノトシ既ニ父ノ身命ヲ繼グ又其

家產遺物ヲ受ケシニ獨リ其爵位ニ至テハコレヲ
中絶シテ與ルヲナカラントスルモ是亦人情ニ於
テ行ハレ難ク遂ニ其爵位モ家產遺物ト共ニ子孫
ニ傳ルノ風習トナレリ是即チ世人ノ功ヲクシテ
位ヲ保チ名實相齟齬スルヲアルノ由縁ナリ
世人或ハ此風習ヲ以テ大ニ理ニ戾ルトテ議論ス
ル者少カラスト雖モ世間ノ人情ヲ察スルニ父ノ
爵位ヲ受ケシ二代目ノ人ヲ尊敬スルヲ其初代ノ
人ニ與テラヌ加之子々孫々世ヲ重ヌルニ從テ益
之ヲ貴フヲ甚クシ思フニ此人情ハ人ノ古物ヲ貴

心ヨリ出テシナナル可シ世間ノ人何心ナク云
ヘルアリ某ハ血統十二代目ノ名家ニテ今俄ニ
人カヲ以テ起ス可キ門閥ニ非スト世ニ旧國ノ君
ヲ尊敬スルモ亦此人情ナリ天下衆人ノ内ニハ文
武兼備ノ才德アリテ國家ヲ支配ス可キ人物少カ
ラスト雖氏人心ヲ歸服セシム可キ門閥ナルモノ
甚タ稀ナルカ故ニ德ノ有ル者ハ必ス天下ヲ保ツ可
キニ非ス方今世界中ノ諸國多クハ國王又ハ貴族
ニテ其政ヲ行フモ自然ノ人情ニ出テエリニテ
然ニハ非ラサルナリ

世人相勵ミ相競ノ事

一種ノ情合ヲ存シテ互ニ身ヲ棄テ物ヲ棄テ、憚
ルナキハ家族ノ間柄ナレバ今家ヲ出テ世間ヲ
見ルニ斯ル情合ノ存スル所ナク人々自カラ我路
ヲ行キ我職ヲ務メ我趣意ヲ達セントシテ先ヲ爭
ハサル者ナシ是即チ世人相勵ミ相競ノノ性情ニ
テ世ノタメニ益ヲナス一少カラス世間若シコノ
人情ナクハ心力ヲ勞シテ功名ヲ立ルモノナカル
ベシ
前条ノ如ク我幸福ヲ求メ我趣意ヲ達シ我活計ヲ

求テ他ヲ顧ミスト雖氏獨我私欲ヲ慾シテ他人ノ妨ヲ爲スノ患ナキハ文明ノ然ラシムル所ナリ今教ノキ夷民ノ群集中ニ一片ノ財貨ヲ投與シナハ其群集忽チ上下ニ動乱シ互ニコレヲ争テ面ニ疵付ケ眼ヲ抓裂キ其魄体見ルニ忍ヒサルミシト雖氏文明ノ世ニ於テハ然ラズ人皆是非ヲ知リ禮義ヲ重スルカ故ニ人ヲ害シテ自己ノ趣意ヲ達スルヲナシ草昧不文ノ世ニ在テハ人ヲ害セザレバ自カラ利スルヲ能ハス故ニ心身活潑ニ事ヲ成ス者ハ常ニ盜賊ナリ文明ノ世ニ於テハ然ラズ

富貴利達ヲ致ス者ハ常ニ他人ノ利益ヲ成シタル者ナリ

富貴利達ヲ致スニ二様ノ道アリ其一ハ他人ノ物ヲ奪取ルト其ハ自己ノ力ヲ以テ新ニコレヲ起ストナリ武ヲ貴ヒ力ヲ畏ル、ノ國ニ於テ富貴ヲ致スニハ必ス他人ノ物ヲ奪取ルノ外道ナシ故ニ不文不明ノ世ニ居テ富貴トル人ヲ見ルニ必ス他人ノ損害ヲ成セルモノナリ即チ師ヲ起シテ安ニ人ノ國ヲ攻取リ盜賊同様ノ舉動ニテ自カラ富貴ヲ致スモノアリ又國民ヲ奴僕ノ如ク仕倭シ其膏

血ヲ竭シテ自カラ富貴ヲ致ス者アリ是等ハ皆他人ノ損害ヲ爲スモノナリ

東洋諸國ニ於テハ方今ノ世ニ至テモ尚暴政ヲ恣ニシ一時ノ私欲ヲ以テ富人ノ財ヲ没入スルヲアルカ故ニ佞令ヒ實ハ富豪ナルモノモ富豪ノ風ヲ人ニ示スハ身ノタメニ甚危シ歐羅巴ニ於テモ往古封建世祿ノ乱世ニ當テ世人安シテ産業ヲ營ムヲ能ハサルカ故ニ皆財貨ヲ集テ竊ニコレヲ貯置キシニ國內ノ貴族ナルモノコレヲ見出シテ惡法ニ奪取リシヲ屢コレアリ實ニ此時代ニ於テハ世

祿ノ武士等穩ニ業ヲ營ムヲ恥辱ト思ヒ專テ亂暴ヲ恣ニシ世人ノ貯置キシ財貨ヲ奪取ルニ少シセ憚ルヲナカリシナリ

右ノ如ク天下武ヲ貴ヒ互ニ先ヲ爭テ富貴利達ヲ求ルハ或ハ人生相勵ミ相競フノ趣意ニ似タレモ其實ハ時勢ノ弊ニテコレヲ世ノ繁昌ト云フ可ラス文明ノ教漸ク行ハレ人々德行ヲ修メ智識ヲ研クニ至テ世ノ形勢全ク其趣ヲ異ニシ人自カラ利達ヲ求レハ共ニ他人ノ利達ヲ致シ人自カラ富福ヲ求ルハ自己ノ力ヲ用テ他人ノ物ヲ貪ルヲナシ

故ニ近世蒸氣機關ノ仕掛ヲ大成シ蒸氣車鐵路ノ

法ヲ發明シタルワット下ニ略ハルグリーウス紡績機

関ヲ發明アルクワイト同上スチフェンソン下ニ略ノ

如キ大家先生モ其發明ニ由テ自カラ高名利達ヲ

得又謙テ天下ノタノニ大利ヲ起セリ加之斯ル大

發明ヲ傍ヨリ助テ其目的ヲ達セシメシ者マデモ

亦自カラ名利ヲ得テ共ニ天下ノ利益ヲ致セリ

抑文明ノ世ニ於テモ或ハ人ヲ害シテ自カラ爲ニ

シ人ヲ損シテ自カラ利セシトスル者ナギニシモ

非サレバ斯ル鄙シキ人物ハ多ク事ヲ成ス可能ハ

スル文明開化ノ制度ニ於テ許リ、ハ所ナレハ常

ニ戦マ競々トシテ其渡世ノ有様甚ク見苦シキヤ

ナリ

前ノ条々ニ論スル所ヲ以テ之ヲ視レハ人生ハ互

ニ害ヲ爲サスシテ各其富貴青雲ノ志ヲ達スヘク

加之互ニ相勵ム相競テ却テ世間ノ利益ヲ致ス可

シ故ニ家族ノ間親愛慈情ヲ主トシテ相競フハ心

ナキハ老幼小弱ヲ助ケシメンカ爲ナリ世上ノ交

際ニ於テ互ニ先ヲ爭ヒ互ニ利達ヲ求テ其弊ナキ

ハ世界ニ般ノ利益ヲ爲サシメシカ爲ナリ皆是造

物主ノ然ラシハル所ニテ其心匠ノ巧ナルヲ知ル
可シ
故ニ世人若シ惡事ヲ爲サスシテ智力ヲ用ヒ功名
青雲ニ志ス者アラバ之ヲ許シテ其通達ヲ妨ク可
ラズ然レモ人モ亦安ニ利達ヲ望ミ熱中ノ欲ニ乘
リ之ヲ節スルヲ知ラサレハ青雲ノ志ヲ變シ
野心ト成リ人ヲ利セシテ人ヲ害スルヲ少カ
ラシムル人ノ事理ヲ誤解スル由縁ヲ察スルニ始
メ欲ノ逞セントシテ望ヲ失ヒ遂ニ終身ノ心事
誤ルヲナレハ人タルモノハ事始メ謹マザル

可ラズ抑天下衆人ノ内ニハ不義ニシテ富且貴キ
者モアレモ固ヨリ天道ノ理ノ大義ニ戾ルヲトレ
バコレヲ智ト云フ可ラズ且文明ノ盛ナルニ後テ
世間一般ノ爲ニ衆人ノ利益ヲ平均スルノ風俗ト
ナレバ故ニ其間ニ居テ他人ノ害ヲ爲シ獨リ私ノ
利ノ貪フノトセバ必ス我力ニ及ハサルヲアル可
シ
人生互ニ先ヲ爭テ自己ノ爲ヲ謀ルニ似タレモ事
一成スニハ必スシモ一人ノ力ニ非ラス常ニ他人
ニ交ヲ結テ其事ヲ共ニスルヲ多シ固ヨリ此交ハ

他人トノ交ナレバ家族ノ如ク親愛ノ情ヲ賴テ此
彼ノ差別ナキニハ非サレ民互ニ其緩急ヲ救ヒ其
歡樂ヲ共ニスルノ趣意ナルカ故ニ人間ニ欠ク可
ニサルノ交ナリ

ワットノ略傳

ゼーハス・ワットハ千七百三十六年
英國ノ「ダリーノック」ニ生レ千八百十九年同國ノ
「リースモールド」ニ死セリ初メ其父ハ富豪ノ造
船家ナリシカ晩年ニ及テ產ヲ破リ家貧ニテ其
子ヲ教育スルヲ能ハス然ルニ「ワット」ハ天稟多病
ニシテ家ヲ出ツルヲ好マス常ニ一室中ニ居テ

書ヲ讀ミ算術器械ノ學ヲ研究シ年十四歲ノハ
躬カテ「エレキトル」ノ器械ヲ製シ又其頃ニ
日家ニ居テ茶ヲ煎スル片茶瓶ノ蓋ヲ取テ又
レヲ覆キ瓶ノ口ヨリ湯氣ノ出ル所ヘヒヲ當テ
其ヒハ湯氣ノ溜リテ水ト成タルヲ一滴ツ、計
ヘ居タリシニ其叔母傍ヨリ之ヲ見テ「ワット」カ心
匠ヲ知ラス懶惰無益ノヲ為ストテ大ニ叱リ
シ「ワット」○爾後「ワット」ハ本草學舍密學礦山學
ヲ勉強シ殊ニ窮理學ニ於テハ其奧義ヲ達シ年
十八歲測量器製作ノ術ヲ學ベトシテ「ガラスゴ

トニ行キ諸先生ニ交リ殊ニドクトルブルグラフキド
クトルキト厚ク懇親ヲ結ヘリ同處ニ居ル
一年ニシテロンドンヘ行キコノ處ニ滞留スル
トモ九ク一年ニシテ遇病ニ羅テ歸郷セリ其後
復タガラスゴトニ行テ同處ニアル學校附屬ノ
器械司トナリ一個ノ製作所ヲ設ケテ器械ヲ製
居タリシガ學校ノ生徒モ次第ニ之ト交リ或
學術ニ不審ノ箇条アレハ時々ワットヘ質問シ
其說ヲ聞テ大ニ發明スルト少ナラス當時學
校ノ評ニワットハ帝ニ精巧ノ器械司ナルニ

非ニ窮理學ノ一大先生ナリトテ其名高日ニ
高シ此時學校ニハクトルロビンソンナル者アリ
殊ニワットト金蘭ノ交誼ヲ結ヒワットモ亦コノ人
ニ學テ益ヲ得ルヲ多シ○ワットカ蒸氣ヲ用ヒ
運動ノ力ヲ起サントシ其工夫ヲ始メタルハ千
七百五十五年ノ頃ナリ同年其友ロビンソント謀
テ雛形ヲ作りタレハ意ノ如クナラスシテ之ヲ
廢シ千七百六十一年ヨリ六十二年ノ間ニ尚又
ユ夫ヲ運ラシ輕小ノ筒ヲ製シテ水鐵砲ノ形ト
ナシ之ヲ倒ニシテ其棒ニ分銅ヲ掛ケ置キ筒内

鑄ノ下ニ蒸氣ヲ入レテ分銅ヲ引揚ケ又其蒸
氣ノ漏ラシテ分銅ヲ落トスヲ試ミタリ斯ク
一端ノ工夫ヲ成セタリト雖氏固ヨリ之ヲ實用
ニ施スニ足ラス千七百六十三年學校ヲ去リ妻
ヲ娶テ家ニ居リ手傳ノ職人ジョシガルヂ子ルナ
レ者ヲ雇ヒ此人ト共ニ日夜苦心焦思ミテ又一
ノ蒸氣筒ヲ工夫シ稍其趣ヲ改正シシレド底到
リ、ニ二箇条ノ困難事ヲ生シ其一方ヲ救ント
スレハ一方ニ弊ノ起シテコレヲ如何トヤス可
ラス即チ蒸氣ヲ筒ニ満タシテ鑄ヲ一方ニ進

ハ隨テ又其蒸氣ヲ冷シ下度ヒ膨脹シタルモノ
ヲ即時ニ収縮セシメサル可ラス、ノ困難事ナ
リ又筒内ノ蒸氣ヲ収縮セシメ其鑄ヲ本ニ返
シハ隨テ又筒ヲ温タ、メ再来ノ蒸氣ヲ保テ再
ヒ鑄ヲ進ルル其温氣ヲ失ハシム可ラス、ノ困
難事ナリ右ノ次第ニテ最初筒内ニ蒸氣ヲ入ル
レハ其筒ヲ温タ、ムルカ爲ニ多少ノ熱ヲ失ヒ
又コレヲ冷シテ鑄ヲ返サントスルニハ多少ノ
時ヲ失ヒ無益ニ蒸氣ヲ費ス、其タ多シ右兩様
ノ困難事ヲ見テソツトノ考ニハ筒ノ温度ヲ常ニ

變スルヲチクシテ蒸氣ノミヲ収縮セシムルノ
術ヲ得バ大ニ機關ノ力ヲ増スコアル可シトエ
夫ノ端ヲ開クレバ數月ノ間其工夫ヲ遂ルヲ能
ハス乃チ又水製ノ筒中徑九「インチ」長サ一
トナルモノヲ作り一種ノ釜ヲ用ヒテ再三再四
コレヲ試ミ熱湯ヨリ蒸氣ヲ發スル分量ハ水面
ノ廣狹又ハ水ノ多寡ニモ拘ハラズ唯熱度ノ強
弱ニ由テ蒸氣ノ分量ニ多少アルトノヲ發明
シ且一「インチ」立方ノ水ヲ蒸氣ニ變ムレハ大九
一「フー」立方ノ分量ニ増ス可シトノ説ヲ定メ

タリ右ノ如ク次第ニ發明ヲ重サ子千七百六十
二年ニ至リ始テ蒸氣ノ筒「ボイル」ト蒸氣ヲ収縮
セシムル器「コンデ」ト別ニスルヲ工夫シ
レヨリ後來ノ凝圓次第ニ水解シテ尚又千七百
六十八年「ジョン・ルー」ボックノ助力ヲ乞ヒ錫ヲ以テ
中徑十八「インチ」ノ筒ヲ造リ之ヲ試ミシニ大ニ
蒸氣ノ功用ヲ顯ハシテ翌年官許シテ得ル
ボックハ此度ノ新發明ニ附キ大ニ力アリシ故ヲ
以テ向後コノ器械ヲ以テ得ル所ノ利潤ヲ三分
シテ其二分ヲ同人ヘ與フ可シト定メタル

後ル一ボックハ金山ノ事ニ忙シクワトハ通航堀
割ノ事ニ掛テ蒸氣機關ヲ大成スルニ暇アラス
千七百七十三年友人ノ勸メニ由テコレマテル
一ボックノ引受シ關係ヲツボノボウルトンニ讓
リワットモ同處ニ行テ共ニ謀テ其翌年遂ニ新發
明ノ大業ヲ卒リテ蒸氣機關ノ社中ヲ結ビ今日
至ハマテ之ヲボウルトン及ヒワットノ社中ト
稱ヒリ初メ千七百六十九年官府ヨリ五年ノ間
專賣ノ免許ヲ得タレバ發明ノ卒業ニ至ルマデ
既ニ其年限ヲ終リシカ故ニ尚又千七百七十五

年ヨリ二十五年ノ間專賣ノ免許ヲ請ヒ其後機
關ヲ造ルコト愈多ク随テ造リ随テ改正シ益其精
巧ヲ極メタリ抑コレヨリ以前ニ蒸氣機關ヲエ
夫セシ者多シト雖此之ヲ大成シテ實用ニ施シ
タル者ハワットナルカ故ニ蒸氣機關ノ發明者ト
テ其名ヲ不朽ニ傳ヘリ或人コレヲ稱シテ云ク
先生ノ工夫ヲ以テ蒸氣ノ機關一度大成シ其力
ノ強大ナルト其運動ノ自由ナルコト實ニ驚駭ス
可シ大象ノ鼻ヲ以テ針ヲ撮ミ又大木ヲ裂ク
コレヲ蒸氣ニ比スレハ膏ニ三舍ヲ避ルノミナ

ラス以テ印版ヲ彫刺スレハ精巧ノ手モ之ニ若
カス鉄塊ヲ壓碎ケハ蠟ヨリモ軟ナリ糸ヲ紡績
スレハ其細ナルモ如ク軍艦ヲ舉レハ其輕
キヲ水泡ノ如シ以テ薄紗ヲ縫フ可ク以テ鉤ヲ
鍛フ可シ以テ剛鉄ヲ切テ糸ノ如ク爲ス可ク以
テ風浪ニ逆テ舟ヲ進ム可シト○千七百九十四
年及ヒボウルトニノ子ヲ薦メテ蒸氣機關
ノ社中ニ加入シソットハ千八百年ニ至ルマテ二
十五年間專賣ノ利潤ヲ受ケテ乃チ社中ヲ脱シ
數年前新ニ買ヒシヒリスフィールドノ田園ニ歸

リ知己ノ學友ト共ニ風月ヲ樂テ殘年ヲ終リシ
ト云フ

ステュンソンノ略傳

ジョージ・ステュンソンハ

英國ニテ鉄道蒸氣車ヲ創造セシ人ナリ十七百
八十一年ノースオスフルラントニ生レ十八百
四十八年タプトン・パークニ死セリ兄第六人ア
リ其父ハ井ラムノ石炭山ニテ蒸氣ノ火焚キヲ
業トシ終歲力役シテ家族ノ衣食ヲ給スルニセ
足ラサル程ノ次第ニテ固ヨリ其子ニ字ノ教ユ
ルノ力ナシステュンソンハ其第二子ニテ幼年

ノハヨリ嘗テ書ヲ見タルヲナシ年九歳ニシテ
 隣家ニ雇ハレ一日ニ二ペン^{五厘ニ當ル本編}ハ我セカ
 ノ附録ノ日雇賃ヲ取テ牧牛ノ番人ト爲リ其外
 農業ノ手傳ヲ爲シ居タリシカドモ生来ノ心願
 ニテ父ト同業セラレト好ミ年十四歳父母
 随テダリリシニ家ヲ移セシ其地ニテ石炭山
 社中愛セラレステフニシハ鎮着ニシテ
 才智アル少年ナリトテ蒸氣火焚キノ手傳ニ命
 ジタリ其後火焚キノ職ニテ處々ノ石炭山ニ雇
 ハ年月ヲ經ルニ從テ次第ニ蒸氣機關ノ取扱

ヲ心得或ハ之ノ取離シテ一通リノ修履ヲモ爲
 シ得ルニ至リシカハ十八歳ノハマテハ讀書ノ
 知ラサルノミナラス自今ノ姓名ヲモ讀ム能
 ハスコノ項ヨリ力役ノ傍ニ石炭山ノ童子ト共
 ニ夜學校ニ行キ痛ク勉カラ勉強シテ二年ノ間
 ニ漸ク書ヲ讀ミ文字ヲ書キ算術モ加減乗除ヲ
 自由ニスルヲ得タリ千八百二年妻ヲ娶リ二
 年ノ後不幸ニシテ其妻ヲ失ヒ一子ロベルト^{大後}
 家トナリ其名ヲ遺シフレハステフニシハコ
 父ニ劣ラス
 ノ兒ヲ携テキリレタルスノ石炭山ニ行キ業ヲ

營ムト雖氏固ヨリ其給料モ少ク加之其給料ノ
内ヨリ屢父母ノ困窮ヲ救ヒ得ル所費ス所ヲ償
フニ足ラス一身孤子ノ處置如何トモス可ラス
或ハ又心事ヲ轉シテ亞米利加ニ行キ活計ヲ求
ントテ其策ヲ運ラレタルコトモアレ氏數千里外
ノ遠國ヘ旅用ノ方便モヲク乃チ志ヲ決シ唯一
身ノ心カヲ勞シテ以テ後來ノ禍福ヲ試ント思
ヒ定職ノ傍ニハ器械書蒸氣書ヲ讀テ自カラ爲
ニシ或ハ人ノ爲ニ時計ヲ脩復シ履ヲ繕ヒ衣裳
ノ敝レタルヲ補ヒ襦袢ノ垢付ルヲ洗ヒルヲ

手足ヲ動かシテ人ノ便利ヲ達シ我活計ヲ助ク
可キコナレハ何等ノ煩勞ト雖氏嘗テ之ヲ憚ル
コナシ當時石炭山ノ評ニヌテ五ノンハ百需
全備ノ才物ナリトテ同職ノ役夫ニ至ルマテモ
皆コレヲ調法セリ斯ク時日ヲ經ル間ニ千八百
十二年石炭山ノ主人器械改正ノコトニ付ステ左
ノンノ説ヲ聞テ大ニ之ヲ悦ビ俄ニ撰舉シテ
キリシタルスノ蒸氣機關司ニ命シ一年ニ百
ノン給料ヲ與ヘリコレヨリスステ五ノンモ稍
地位ヲ得テ回来ノ素志ヲ實事ニ施シ種々便利

ノ器械ヲ製造シ就中蒸氣車ノ制式ニハ多年其志ヲ專ニスル所ニテ尚又此度ニ至リ世上在來ノ諸器械ヲ探索レ其制式ヲ見テ其功用ヲ察シ此彼相比較シテ千八百十四年一種ノ蒸氣車ヲ造テ之ヲ試ミレニ古來未曾有ノ妙用ヲ成レタリコレヨリ以前ニ製シタル車ニハ其輪ノ周圍ニ釘ヲ樹テ鐵道ノ上ニ滑ルヲ防キシナレバステフンクンハ此釘ヲ去リ其外變革セシ所多キニ付テハ衆議沸騰シテ其拙ヲ謗ルト雖氏毫モ屈スル色ナク英吉利國內ノ諸老先生ヲ敵手

ト爲シ獨リ其意ヲ銳シテ工夫ヲ運テ再三再四試驗ノ際ニ遇蒸氣ノ聲ノ喧シキヲ避ケンカ爲其釜ヨリ洩ル、モノヲ煙出シヨリ遁レシメシニ蒸氣ノ排出スルニ從テ風ヲ生シ火勢ヲ増シクルヲ見テ大ニ悦ビ遇然ノ發明ヨリシテ其理ヲ推シ蒸氣ノ力ヲ劇烈ニスルノ術ヲ得テ遂ニ千八百十五年再ヒ車ヲ造テ初テ大成ヲ得タリ本編蒸氣車ノ條ニ千八百十二年蒸氣車ヲ造ハ唯其工夫ヲ運送云云ト記シタレ氏其時ノ製作車ト云フ可キ程ノモノニハ非サルトリ如ク蒸氣車ノ制式ハ稍全備シタレ氏ステフン

ソシノ説ニ蒸氣車アレハ必ス鉄道ナカル可
 ス兩様ノ内一ヲ欠ケハ用ヲ成シ難シトテ乃チ
 又鉄道ノ改革ヲ始メ鉄線ヲ太クシ軌道ノ幅ヲ
 定メ廣キモハ四ノ一七ノ一トモ
 狭キモハ七ノ一トモ從來鑄鉄ニテ造
 リモモノヲ廢シテ鍛鉄ヲ用ヒ都テ堅固ニシテ
 平面ナルヲ趣意トセリ○千八百十五年拿破倫
 ノ騷乱初テ治リ天下太平ニ復シタルニ就テハ
 國內ノ貿易モ次第ニ繁榮ニ赴キ蒸氣車鉄道ノ
 建立ヲ望ム者多シト雖モ當時世上一般ノ説ニ
 蒸氣車ハ坂道ノ急ナル處ニ重キ荷物ヲ引上ル

ニハ必用アレモ尋常ノ道路ニ用ユ可キモノニ
 非ラスト云ヘリステ云フンハ其同志ノ者數
 人ト共ニ此説ヲ排シテ云ク鉄道ハ上王侯ヨリ
 下庶人ニ至ルマテノ官道ニシテ蒸氣車一度ヒ
 世ニ行ハレナハ驛路ノ馬車ハ地ヲ拂テ廢却ス
 可シトテ初テ大業ヲ起シハットン、石炭山ヨリ
 八里ノ間ニ鉄道ヲ敷キ平地ハ蒸氣車ニテ自カ
 ラ走リ阪道ノ處ハ道ノ傍ヘ別ニ蒸氣機關ヲ据
 ヘテ之ヲ引上ケ往來ノ便利ヲ達セシトシテ千
 八百二十二年遂ニ其功業ヲ成シタリ此鉄道ヲ

造ヲ稍成功ニ至ラントスルハ政府議事院ノ評
議ニテアストクトシヨリダリシトシマテノ往
來ニ鉄道ヲ造ラントテ三百ポントノ給料ヲ以
テスラフンソシハ其事ヲ命シ且議事院ノ説ニ
其鉄道ノ平地ニハ馬ヲ以テ車ヲ引キ阪道ノ處
ヘハ路傍ニ蒸氣機關ヲ据ヘテ車ヲ引ク可シト
ノヲナレハステフンソシハ強テ懇願シ遂ニ議
事院ノ許ヲ得テ蒸氣機關ノ車ノモヲ買ハル
ニ定リ三年ノエヲ費シテ千八百ポントノ代
其道ヲ開キ天下ノ耳目ヲ驚カセタリ（此時ニ

至テ世上ニ鉄道蒸氣車ノ説ヲ唱フル者益多ク
各異説ヲ立テ鉄道ハ尋常ノ路ニ若カスト云ヒ
往來ノ速ナルハ却テ不便ナリト云ヒ蒸氣機
ノ車ヲ以テ自カラ走ルハ路傍ノ處々ニ機
置テ車ヲ引クノ便利ナルニ若カスト云ヒ衆
喋々コレヲ如何トモスルヲナシ殊ニリッ
ポールトマンチストルトノ間ニ鉄道ヲ造ル
ノ評議アリシトキハ其議論益劇烈ニ及ビ殆
ト一場ノ戦争ナリシカトモステフンソシノ
以テ毫モ宿説ヲ變セス千八百二十六年議
事院

ノ命ヲ奉レテ此鉄道ノエヲ始メ千八百三十年卒業セリ此時ニハ蒸氣車ノ制式ヲモ既ニ改正シテ新成ノ鉄路ヲ造リ一時間ニ三十六里ヲ行キシモノナリ○ステュンツンハ英國ニ於テ鉄道蒸氣車ノ事ニ就キ既ニ開祖ノ名ヲ得テ爾後十年ノ間ハ國內ノ諸方ニ鉄道ヲ造リ或ハ外國ヨリノ招待ヲ受ケテ殆ト閑暇ノ時ナシ既ニシテ家富ト身老シテタプトン・パークト云ヘル處ニ退居シ近傍ニアル石炭山ノ事ニ關係シテ其利潤ヲ受ケ老後ヲ樂テ命ヲ終レリ其為人幼少

ノバヨリ質直ニシテ虚飾ヲ好マス老退ノ後モ其舉動都テ平穩ニシテ自カラ足レルヲ知リ眞ニ英國人ノ氣風アリテ世間ノ人望ヲ得タリシト云フ

人民ノ各國ニ令ル、ヲ論ス

英國佛蘭西澳地利普魯士ノ如キハ稍々世界ノ開タル後ニ建國シタルモノニテコレヲ旧國ト云フ可ラズ往古人民ノ一國ト稱シ或ハ一州ト唱ヘシモノハ今日ヨリ考レハ固ヨリ一國ト云フ可キ程ノモノニ非スコレヲ支配スル人ハ其内ノ家筋ノ者

ニテ恰モ本家ヨリ其家流ノ分家別家ノ者ヲ支配
スルカ如シ其一群ノ人ハ一家族ノ有様ニテ本家
ノ主人ヲ呼テ父ト稱セリ方今ニテモ亞米利加ノ
人其酋長ニ事ルニハ父子ノ禮ヲ以テ故ニ其土
人ノ合衆國中ニ在ル者ハ大統領ヲ呼テ大父ト稱
シカナダ地方ニ在ル者ハ英國王ヲ大父ト稱セリ
既ニ今ノ英國女王ヱクトリヤノ位ニ即キシキモ
カナダノ土人等ハ旧來婦人ノ支配ヲ受テシナ
キカ故ニ英國ノ女王ヲ以テ大父ト為ス可ラスト
テ多少ノ混雜ヲ生シタルヲアリ

前条ニ云ヘル如ク僅ニ一群ヲ結テ其酋長ノ命ニ
服從セル人民等世ニ政府ヲ立ルノ法ヲ了解シテ
ハ互ニ相合衆シテ一大國ヲ建ル英國又ハ亞米
利加合衆國ノ如クナル可キ筈ナレバ元來人民ノ
互ニ自由ヲ許シテ不羈獨立ノ政府ヲ設ルニ至ル
マテハ其進歩甚ク遅キモノナリ故ニ古來大國ノ
基ヲ開キシ者ハ皆兵力ヲ以テ小弱ヲ并吞シタル
モノニテ其人心ヲ得タルニ非ラス往古羅馬ノ如
キ殆ト全世界ヲ押領シタル其實ハ世ノ人心ヲ
服從セシメテ穩ニ他國ヲ并ヤタルニ非ラス唯兵

力ノ威光ニ由テ天下ヲ畏服セシナリ
方今歐羅巴ノ諸大國モ其本ハ小國ヨリ興テ他國
ヲ蚕食シタルモノ多シ譬ヘハ佛蘭西ニテモ往古
其國王一唱ヘレ者ハ方今佛國ノ首府タルパリス
ノ近傍僅ニ數里ノ地ヲ領シタルノミ今日佛蘭西
國ノ形勢ヲ見佛蘭西人ノ常談ヲ聞ケハ佛蘭西ハ
開闢以來今ノ佛蘭西ノ如クナリシカト思フベケ
レ氏決シテ然ルニ非ラス其國境ノ廣大トナリシ
ハ百年以來ノコニテ既ニ拿破崙ノ時代ニモ屢變
革シタルコトアリ

右ノ外西班牙ニテモ往古ハ六國ニ分レシガ千四
百年代ノ頃合シテ二國ト成リ其後又此二國ノ君
一ハ男主ニテハ女主ナリシ者婚姻ヲ結ビ國モ
亦一ニ合シ尚又澳地利荷蘭百耳義伊太里ノ
アル其外亞米利加ノ地方ヲモ領シテ一時西班牙
ハ世界中ノ強國ト稱セリ國ヲ開タル一例ナリ爾
後西班牙ノ威力次第ニ衰微シテ所領ノ地ヲモ殆
ト失ヒ盡シテ方今ハ唯其本國ヲ存スルノミ國ヲ
蹙ムタル一例ナリ○魯西亞ノ強大トシシモ多
クハ其鄰國ヲ蚕食シタルモノナリ其先代モスコ

「ニ都ヤシバマテハ僅ニ近傍ノ地ヲ領シテ其大
サ今ノ荷蘭國ニ過キサリシ程ノヲナリ○凡ソ古
來國勢ノ俄ニ強大トナリシモノハ普魯士ニ如ク
モノナシ方今普魯士國ハ人口二千萬ニ近ク歐羅
巴諸州ノ内ニテ一大強國ト云フ可シ然ルニ其國
祖先ノ由緒ヲ尋レバ今ヨリ百年以前ハブランデ
ンボルフノ一諸侯ニテ人口僅ニ百萬人ヲ支配シ
タリシモノナリ

今ヨリ千年以前ノ頃ハ不列顛英蘭蘇格蘭ヲ合ヤ
タル總名ナリ本編
英國ノ部モ十三四國ニ分レテ各獨立シタリシガ

紀元九百年代ニ至リ英蘭エングランドヲ一統セシモノアリテ
次テ又阿爾蘭アイルランドヲ并セタレバ蘇格蘭スコットランドハ千七百年代
ノ始ニ至ルマテ依然トシテ獨立セリ此時ニ於テ
蘇格蘭ハ貧弱ナル一小國ナレバ英國ヨリ兵力ヲ
以テコレヲ攻取ルノ企ナシ千七百六年ニ至テ兩
國ヨリ全權委任ノ使節ヲ命シテ合衆ノ談判ヲ遂
テ寸兵ヲ用ヒスシテ兩國ヲ并セ一大國ノ基ヲ起
シタリ其有様ハ二個ノ商人各其財ヲル所ノ財ヲ
合セテ一ノ商賣ヲ始ルカ如シ○亞米利加合衆國
ノ獨立セシルモ其諸州ノ合シタルハ兵力ヲ用

三ニ非ラス互ニ約條ヲ結テ一政府ヲ立タルナリ
小國ヲ合セテ大國ト爲セハ世ノタメニ利益アル
一少カコス第一制度ヲ一致シテ兵乱ノ禍少ク言
語風俗ノ同様ニ爲シテ人ノ交ヲ廣クシ人民互ニ
世上ノタメニ便利ヲ謀テ大業ヲ企テオカアル人
物ヲシテ其勸ヲ逞フスルヲ得セシム可シ今倭
ニ英國ヲ分テ二三ノ小國ト爲サバ倭令ヒ兵乱ヲ
起シ、ルモ其國々互ニ相羨ミ互ニ相嫉テ常ニ争
論ノ止ムヲナカル可シ又其國ニ英雄ノ君出テ
善政ヲ施スヲアリト雖モ唯自國ノミニ限テ其德

澤ヲ他國ヘ及ボスヲ能ハス加之各國互ニ其隣國
ノ產物ヲリ運上ヲ取り其人民ヲ取扱フ一外國人
ノ如クノテ互ニ相苦ム可シ昔伊太里ニ於テ斯ル
惡弊ノ流行セシヲアリ

小國ヲ合セテ大國ト爲スハ固ヨリ世ノタメニ利
益ナリト雖モコレヲ合スルノ法ハ宜シク英國ノ
蘇格蘭ヲ并セタル法ノ如クナル可シ若シ然ラス
ニテ兵力ヲ以テ他國ニ押領スルモ必ス其間ニ
不平ヲ生シテ苦情ノ止ムヲナカル可シ古來亡國
ノ人民ニ由テ蒙ラサルモノハ甚タ稀ナリ故ニ兩

國ノ人民同意一致シテ相合衆スレハ世界中ノ幸
トモ云フベキナレ兵力ヲ以テ他國ヲ滅ス者ハ
所謂暴ヲ以テ暴ニ代ルモノニテ國境ノ弘マリ兵
力ノ盛ナルニ從テ益々其權威ヲ恣ニ却テ世上ノ
大害トナル可シ
或ハ又海外ノ遠方ニ所領ノ地ヲ支配スル政府ア
リ其支配ノ法甚々難シ殊ニ其地ヨリ土人名代ノ
議事官ヲ本國ノ政府ニ出タス可キト否ニ至テハ
其利害得失未タ定ラズ凡ソ世界中ニ海外所領ノ
廣大ナルハ英國所領ノ印度地方ノ以テ最トシ之

ヲ支配スル模様モ甚々奇ナリ其土地ノ人外國ノ
支配ヲ受ルニ慣レテ自カラ政府ヲ立ルヲ好マ
ス今日ノ勢ニテハ仮令ヒ英國ヨリ其自立ヲ許ス
トモ自カラ敢テセサル可シ蓋シ英國ノ未タ印度
ヲ支配セザリシ前ハ其土地ノ人自國ノ暴君姦吏
ニ第メラレレニ英國ノ支配ト爲リシヨリ以來ハ
法律寬ニシテ政治正シク各其生ヲ安スルヲ得
ルカ故ニ英國ノ支配ヲ離レナバ再ヒ元ノ苛政ニ
陷ランコトヲ恐テ自カラ自國ノ政府ヲ立ツルヲ欲
セサルナリ

右ノ外英國ニハ海外所領ノ地多シト雖其模様
全ク印度ニ異ナリ亞米利加オウストラリア澳大利亞等ノ領地ハ
ハ英ノ本國ヨリ家ヲ移シタルモノ多シ元來コノ
者等ハ遠方ニ行テ土地ヲ開キ新ニ活計ヲ求ルモ
ナレバ不羈獨立ノ一新國タラシヲ欲スルハ
至當ノ勢ナレ氏事ノ始ニ於テハ其人數モ少ク未
ク政府ノ財政ヲ設ルヲ能ハサルカ故ニ本國ノ政
府ヨリ之ヲ扶助シ之ヲ保護シ其人民次第ニ繁殖
富饒ニ至ルヲ待テ乃チ其獨立ヲ許シ人ノ満足ヲ
得セシム可シ若シ然ラスニテ其既ニ獨立ス可キ

モノヲ尚束縛シテ之ヲ制セントセハ其民必ス叛
テ自カラ獨立ノ新政府ヲ建ツ可シ本國ノ良策ト
云フ可ラス

各國交際

各國自立シテ其本國ヲ守リ其所領ノ地ヲ失ハサ
ルハ多クハ兵力ノ然ラシムル所ナリ太平無事ノ
時ニハ各國互ニ相奪フノ患ナレト雖氏一旦干戈
ヲ開クニ及テハ侵略掠奪至ラサル所ナレ殊ニ夷
俗草昧ノ國ニ於テハ人ノ依頼ス可キ制度ナクシ
テ其慘毒最モ甚シ他人ノ害ヲ被リシ者ハ我知已

朋友ヲ集テ自カラ讎ヲ報スルノ外更ニ術ナシ謗
ニ呼謂有力者ハ非ヲ理ニ變シ無力者ハ常ニ其害
ヲ被ルトハコノイナリ文明開化ノ教漸ク世ニ行
ハレ制度法律次第ニ明ナルニ至テ此弊害モ隨テ
止ムト雖モ各國交際ノ有様ハ今日ニ至ルマテ尚
往古夷民ノ互ニ匹夫ノ勇ヲ争ヒシモノニ異ナラ
ス故ニ現今至文至明ト稱スル國ニ於テモ動モス
レハ大ニ戦争ヲ始メテ人ヲ殺シ財ヲ費シ其害舉
テ云フ可ラス實ニ長大息ス可キモノナリ
文明ノ人民ハ其政府ニ服従スルノ便利ヲ知り且

コレニ服従セサル可ラサルノ理ヲ了解シテ自カ
ラ政府ノ權威モ行ハレ一國ノ内治ハト雖モ固ヨ
リ獨立ノ國ナレハ他國ノ制度ニ從フナシ故ニ
小國ハ大國ニ侵サレシヲ恐レ亦大國ト雖モ禮
ヲ知ラスシテ暴行ヲ恣ニスレハ小國連合シテコ
レヲ伐ツノ恐アリ右ノ次第ニテ各國ノ間ニハ常
ニ爭論ノ止ムコトナク動モスレハ兵威ヲ以テ我目
的ヲ達セントスル者アリテ其交際甚ク危シト雖
モ世上未タ一定確明ノ全權ナキカ故ニ其爭端ヲ
防クモナシ

世ノ文明ニ進ハニ役テ一法ヲ設クコレヲ萬國公
法ト名ケリ抑世上ニ一種ノ全權アリテ萬國必ス
此公法ヲ守ハ可シト命ヲ下スニハ非サレモ國ト
シテ此公法ヲ破レハ必ス敵ヲ招クカ故ニ各國共
ニコレヲ遵奉セサルモノナシ各國ノ間互ニ使節
ヲ遣テ其國ヘ在留セシムルモ其國々互ニ公法ノ
趣意ヲ忘ル、一無ラレカ爲ナリ故ニ兩國ノ間ニ
怨ヲ結フト雖使節ハ敵國ヘ在留シテ更ニ害ヲ
被ル一ナレ既ニ戦争ノ始ルニ及テコレヲ其本國
ヘ送返ス、二斯ク敵國ノ間ニモ自カラ禮義ヲ存

スルハ文明ノ然ラレム所ナレモ往昔ハコ、一其
々行ハレ難ク既ニ土耳其ノ如キハ他國ト戦争ニ
及ヘハ先ツ其使節ヲ捕ヘレシ屢コ一ノリ
歐羅巴諸大國ノ間ニハ國力ノ平均ト唱ルリアリ
ニ世ノ太平ヲ保ツノ一大助トナレリ方今歐羅巴
ニテ大國ト稱スルモノハ英吉利佛蘭西、澳地利普
魯士、魯西亞、是ナリ其國力ヲ平均シテ互ニ優劣ナ
キ所以ハ元相羨ミ相嫉ムノ情ニ出テシモノニテ
譬ヘハ今此五大國ノ内英國ノ蘇格蘭ヲ并セタル
如ク二國相合衆セルトスルノ勢アラハ他ノ三國

コレヲ恐レテ其合衆ヲ妨ク可レ千七百年代ノ始
ニ佛蘭西ト西班牙ト合レテ一國タラシトセシニ
各國兵ヲ起シテ遂ニ其策ヲ破リシコアリ斯ノ如
ク各國互ニ相嫉ムノ勢アルニ由テ小國ノ為ニ利
益アルコト少カラス即チ大國ノ争ハ小國ノ幸ナリ
今若シ澳地利ト魯西亞トアレテ其力ヲ逞ラセシ
メナハ忽チ近隣ノ小國ヲ并吞ス可キナレト他ノ
諸大國ヨリ之ヲ妨ケ成ハ兵カヲ以テ其強暴ヲ制
スルカ故ニ小國モヨク其國ヲ存レテ侮ヲ受ルコ
トナキヲ得ルナリ抑方今諸國ノ形勢ヲ察スルニ右

論スル如ク唯國力ノ平均ノミヲ以テハ未ダ其
争端ヲ制スルニ足ラス輓近魯西亞澳地利普魯士
ノ三大國共ニボートラントヲ滅シテ其地ヲ分テ又
澳地利ハ伊太里ノ小國ヲ押領セシ等ノコトアレト
他ヨリコレヲ間然スルモノナシ是亦如何トモス
可ラサルノ惡弊ナリ
前条ニ述ル所ヲ以テ之ヲ視レハ各國政府ノ不正
強暴ヲ制シテ全クコレヲ止ム可キノ方術アルコ
トナシ是即チ天下ニ戦争ノ止マサル所以ナリ文明
ノ國ニ於テハ二人ノ間ニ争論ヲ起シテ闘ハント

スル者アルトモ政府ノ法ヲ以テコレヲ止メ其爭
論ヲ制ス可シ總テ文明ノ教ヲ被リタル者ハ戰爭
ノ凶事タルヲ知リ勉テ之ヲ避ルト雖モ外國トノ
交ニ至テハ然ラス或ハ事ヲ好ム者アリテ人心ヲ
煽動シ或ハ其君主功名ヲ貪リ野心ヲ恣ニセント
シテ戰ヲ好ム者甚ク多シ故ニ方今歐羅巴ノ諸國
禮義文物ヲ以テ自カラ誇ルト雖モ其爭端嘗テ止
ムコナシ今日ハ文明開化ノ熱國ト稱スルモノモ
明日ハ曝骨流血ノ戰場トナル可シ帝一桑田變ニ
テ海ト成ルノ止ニ非サルナリ

文明ノ教ヲ以テハ未タ戰爭ノ根源ヲ止ルニ足ラ
スト雖モ稍其慘毒ヲ緩テス可シ亞米利加ノ土人
ノ如キハ其敵ヲ害スルニ慘烈兇惡至ノサル所ナ
シ夜間ニ村落ヲ襲ヒ婦人ヲ害シ小兒ヲ殺ス等ヲ
以テ嘗テ卑怯ノ舉動ト思ハズ自カラ好機會ヲ得
タリトセリ文明ノ師ニ於テハ然ラス無辜ノ婦人
小兒ヲ殺スヲ以テ恥辱トシ敵ノ政ヲ伐テ敵ノ民
ヲ殺サハルヲ戰ノ趣旨トス故ニ敵ト戰フモハ必
ス其兵士ニ向ヒ敵國ヲ伐ツモハ必ス其城ヲ攻ム
村落ヲ侵掠スルトモ徒ニ其民ヲ害スルノミニテ

攻伐ノ目的ヲ達スルニ足ラサルカ故ニ直ニ其首
府ニ進ミ其政府ニ迫テ勝敗ヲ決スルナリ
往昔ハ各國ノ政府艱難ヲ凌キ危険ヲ犯シ唯其隣
國ヲ害スルヲ以テ自カラ剛勇ニ誇リ鄰國ニ罪人
アレハ之ヲ匿シ鄰國ニ逋債ヲ負フ者アレハ之ヲ
助ケ或ハ又隣國ニ争乱ヲ起ス可キ由緒ノ人アレ
ハ財ヲ散シ兵ヲ費シテ之ヲ扶助セサルコトナシ故
ニ英國王スエアルトノ家ヲ絶チシハ佛蘭西ニ
テ其家名ノ人ヲ助ケ數十年ノ間英國ノ煩ヲ爲シ
タルコトアリ事ハ本編英國
條ニ詳ナリ歐羅巴昔年ノ事情斯ノ

如クナリシト雖モ近來ハ漸クコノ惡風習ヲ除キ
各國互ニ其人民ノ爲ヲ謀テ相助ケ此彼此相賴テ國
ヲ建ルノ勢ヲ得タリ

英國ニテ貿易ノ法ヲ一新シテコレヲ寬大ニセシ
ヨリ諸國ノ交際更ニ懇親ヲ増シタリ英國ノ貿易
盛ナルニ就テハ諸國ノ人民英國ニ物ヲ賣テ利ヲ
得ルモノ多キカ故ニコレト戰フコトヲ好マス且其
國々ノ間ニモ戰爭ノ事アレハ自カラ英國トノ貿
易ヲ妨ケ隨テ其人民ノ損亡タル可キヲ知テ太平
無事ヲ祈ル者多シ故ニ方今英國ノ貿易愈盛ナル

ニ從テ各國戦争ノ禍モ愈稀ナルベシ加之英國ニ
テハ貿易ヲ盛大ニシテ一國內ノ繁榮ヲモ致シ
コナレバ諸國ノ政府モコレニ倣テ其商法ヲ寬ニ
シ各國此彼ノ便利ヲ謀テ益々文明開化ノ教ヲ施シ
遂ニハ天下無窮ノ太平ヲ見ル可シ故ニ云ク各國
戦争ノ原因ヲ絶ツハ貿易ノ法ヲ寬ニスルニ在リ

政府ノ本ヲ論ス

前既ニ云ヒシ如ク人生ノ天稟相異ナルヲ甚シ或
ハ筋骨ノ強壯ナル者アリ或ハ身軀ノ虚弱ナル者

アリ或ハ才力ノ剛毅ナル者アリ或ハ精心ノ懶惰
ナル者アリ或ハ人ニ先ツテ人ヲ制スルヲ好ム者
アリ或ハ人ニ從ヒ人ヲ賴テ事ヲ成スヲ好ム者ア
リ草昧夷俗ノ民間ニ於テハ此天稟ノ異同殊ニ著
シクシテ人生ノ害ヲ爲スヲ最モ甚シト雖モ文明
ノ進步スルニ從テ漸ク此不平均ヲ一致シ或ハ全
クコレヲ一致スルヲ能ハサルモ其不平均ヨリシ
テ世上ノ害ヲ生セシムルヲナク却テ轉禍爲福ノ
處置ヲ施スヲアリ
草昧夷俗ノ國ニ於テハ強キ者ハ事ヲ爲スニ意ノ

如クナラサルヲナク弱キ者ハ唯命是レ從フノミ
現今土耳其格ノ奉行ニ向テ禮ヲ失スル奴僕アレバ
劍ヲ拔テ之ヲ切捨ルトモ妨ナシ今ヨリ百五十年
前ハ蘇格蘭ノ北方ニ於テモ其酋長タルモノハ部
属ノ小民ヲ切捨テシ例アリ又數百年前封建世祿
ノ時代ニ於テハ其慘酷コレヨリ甚シ日耳曼ノ一
諸侯嚴冬ノ夕ニ獵ヨリ歸リ手足寒シトテ其家来
ヲ殺シテ腹ヲ割キ鮮血淋漓クル腹中ハ兩足ヲ入
レテコレヲ温タメシヲアリト其殘忍ナルヲ實ニ
名狀ス可ラサルナリ今仮ニ英國ニ於テ富豪ノ貴

族一小民ニ逢ヒ其衣ヲ奪テ自カラ著スルヲアラ
ハ之ヲ許ス可キヤ仮令ヒ縉紳ノ大家ナリト雖モ
罰ヲ蒙ルル必セリ文明ノ德澤ナリ

天稟ノ不幸ニシテ人ニ及ハサルハ五官ノ具ヲ欠
クモノヲ最トス即チ盲聾啞ノ如キ是ナリ夷俗ノ
國ニ於テハ斯ル不幸ノ造物ヲ路傍ニ棄テ、問ハ
ス甚キニ至テハ故サラニ之ヲ殺ス者アリ支那ノ
如キハ全ク開化ヲ被ラサル夷狄ニモ非サレモ尚
盲啞ヲ棄成ハコレヲ殺スノ惡習アリ文明開化ノ
國ニ於テハ然ラス天稟不具ノ人アレバ帝ニ其生

命ヲ保護スルノミナラズ又從テコレヲ教ヘ其不
具ヲ補テ平人ニ齊シカラシメントヲ勉メリ故ニ
盲者ニ書ヲ教ルニハ其文字ヲ作り聾啞ニ言語應
對ヲ教ルニモ其法ヲ設ケ其功德實ニ驚ク可シ亞
米利加ニ一女子アリ名ヲローラブリドマント云
フ目見ル能ハス耳聴ク能ハス口言フ能ハスサレ
ビヨク文字ヲ解シテ知巳ノ人ニ書翰ヲ送ルヲ
得ルニ至レリ故ニ其耳目ハ人ニ及ハサレ其精
心ハヨク天地萬物ノ理ヲ辨シ世界人類ノ情ニ通
セリ

世ノ開ルニ從テ小弱無力ノ者相共ニ謀テ人々ノ
通義ヲ達シ生命ヲ保護スル為ノ處置ヲ設ケコレ
ヲ國ノ制度ト名クテ元來制度ノ目的トスル所ハ
人ノ強弱智愚ニ拘ハラズ各其生命ヲ安シ其私有
ヲ保タシメントスル趣有ナルが故ニ無謀過激ノ
徒ハ之ヲ忌ミ此法則ヲ破ラントシタレ其衆寡敵
シ難ク遂ニ理ヲ以テ力ヲ制シ一定ノ制度ヲ施行
スルヲ得タリ是即チ世ニ政府ノ起リシ本源ナ
リ政府トハ人心ヲ集メテ一鉢ト爲シ力ヲ以テ衆
人ノ意ヲ達セシム元所以ノモノナリ

草昧ノ始ハ先ツ法ヲ設テ然ル後ニ人ヲ制シノル
モノ歟或ハ人々交際ノ上ニ自カテ法ヲ生スルモ
歟其前後得テ知ル可ラス然レモ人アレハ必ス
法ナカル可ラサルノ理ナレハ人間交際ノ始ヨリ
同時ニ其法モ定リ兩様相共ニ進歩スルモノナル
可シ凡ソ地球上人類ノ集ル所ニハ人々互ニ其通
義ヲ知リ自カラ一種ノ政府ヲ建サルモノナシ亞
非利加ノ南方ニボスマントテ一種ノ野民アリ其
民當テ世ニ政府ノアレヲ知ラスト云ヘリ然レ
モ其政府ナキハ元來土地廣ク人口少クシテ相集

ルヲ稀ナルカ故ナリ野民ノ内ニ自カラ人望ヲ
得テ人ヲ歸服セシム可キ人物ナキニハ非ラス
又澳大利ヲ發見セシモハ人皆其國內ニ政府ノ
種類ナキモト思ヒシニ其後人口ノ多キ所ニ行
ク之ヲ見レハ果シテ其首長アリ其外亞米利加
土人ニモ首長アリニュー・ジラランドニモ往昔ハ土
地ノ王ト稱スル者數人アリシヲナリ
人間群ヲ為セハ必ス一種ノ政府ヲ立テ、其取締
ヲ設ケサル可ラス實ニ欠ク可ラサルノ急務ナリ
今國法ヲ犯シ徒黨ヲ結テ賊ヲ爲ス者ヲ見ルニ尚

其内ニ自カラ法則アリ即是レ盜賊ノ政府ノ又
橋下ニ往居スル乞兒ニテモ多六數相集レハ自カ
ラ法則ヲ設ケテ互ニ便利ノ謀レリ即是レ乞兒ノ
政府ナリ昔伊太里ニ強賊アリ其賊首ハ金玉ヲ以
テ衣裳ヲ飾リ配下ノ者ヲ号令スルニ甚タ威權アリ
ミト云フ

草昧ノ始ニ政府ヲ建テ法ヲ設ケシ形勢ヲ察スル
ニ其概略左ノ如シ才幹强健ニシテ心カ勇壯ナル
モノヲ首長ト爲シ年長ニシテ事物ニ熟練セシ者
ヲ謀主ト爲シテ日ニ戰闘ヲ事ニシ小弱未熟ノ少

年ハ其首長ニ事ヘテ禮ヲ盡シ以テ他人ノ侵掠強
奪ヲ遁レシトニテ人ト次第ニ増シ居處次第一定
ルニ隨テ制度法則モ漸ク正理ニ赴ク下ハ雖モ一
幹ノ人氣皆私欲ヲ恣ニセントシテ動モスレハ亂
暴ノ舉動多シ血統ノ子孫ニ家ノ傳フルハ往古ヨ
リノ風俗ナレモ亦其時ノ事勢ニ應ジテ今ノ世ニ
行ハルハ相續ノ法トハ自カラ其趣ヲ異ニスル
アリ譬ヘハ往昔蘇格蘭ノ君死シテ幼少ノ子アレ
ハ其子ヲ立テスシテ年長ノ弟ニ位ヲ傳ヘリ蓋シ
爭亂ノ世ニ當テ幼君ニテハ事務ニ堪ヘサルカ故

ナルヘシ又歐羅巴諸國ノ歴史ヲ按スルニ國君ト
稱スル者其始ハ唯一種族ノ酋長ニテ次第ニ土地
ヲ押領シ遂ニ一國人民ノ上ニ立テ政ヲ施スモノ
ナリ

右ノ如ク國君ノ起立ハ其事情曖昧ナレバ數百年
ノ間世々相傳テ自カラ門伐ノ名ヲ取り就テハ尚
又牽強附會ノ說ヲ立テ、益其威光ヲ耀サントシ
或ハ之ヲ天與ノ爵位ト稱セリ近世ニ至テハ其歷
代愈久シキニ從ヒ其位モ亦愈固クシテ容易ニ之
ヲ動カス可ラス若シ強テ之ヲ動カザントスレバ

國ノ制度モ共ニ變動ス可キノ勢トナレリ抑一國
ノ内ニハ人物モ少ナラサレ門地ニ拘ハフズ
才德アル者ヲ撰テ君ト爲シ國政ヲ施シテ妨アル
可ラサルノ理ナレバ立君ノ制度ヲ以テ國ヲ治ン
トスルニハ國內ノ人望ヲ得タル名家ノ子孫ヲ奉
レ恰モ之ヲ其家族ノ惣名代トシテ君上ノ位ニ立
テ人心ヲ維持スルニ若クハナレ是レ所謂理外ノ
便利ナリ

政府ノ臬裁ハ各相異ナルト雖其大趣意ハ前ニ
モ云ヒレ如ク唯人心ヲ集メテ恰モ一臬ト爲シ衆

民ノ爲ニ便利ヲ謀ルヨリ外ナラス國政ノ方向ヲ
示レ順序ヲ正スルノ事ハ一二ノ君相又ハ議政官
ノ手ニ非サレハ行ハレ難キカ故ニ人心ヲ集メテ
一弊ト爲サ、ル可ラス衆民ノ便利ヲ謀ルニモ人
心一致セサレハ衆ヲ害シテ寡ヲ利スルノ患アル
ル故ニ此亦政府ノ上ヨリ處置セサル可ラス本來
諸國ニ政府ヲ立テ、國民ノ之ヲ仰テ之ヲ支持ス
ル所以ハ唯國內ニ設ニ其德望ヲ蒙ランヲ望ム
ノミノ趣意ナレハ政府タランモ、モ若シ國民ノ
爲ニ利ヲ謀ルヲナタハ之ヲ有害無益ノ長物ト云

ヲ可シ就中其職分ニテ最ニ緊要ナル一大事ハ法
ヲ平ニシ律ヲ正スル在リ是即チ人民ノ生ヲ安
シ自由ヲ得私有ノ物ヲ保シテ之ヲ得ル所以ナリ故
ニ政ヲ施スニ誠實ヲ主トシ公平ヲ失ハサレハ政
令々一時ノ過失アルトモ其政府ヲ遵奉セサル可
ラス

西洋事情外編卷之六終